

問題番号	経由団体	問題点	問題点の内容	状況	要望	準拠法
8. 知的財産制度運用						
1	日機輸	税関の水際対策の不十分	・現地当局による摘発が行なわれ一定の効果は見られるものの、市場では模倣品が堂々と売られ、また大量の模倣品を保管・取引する模倣品業者が後を絶たない。これら模倣品の大部分は国内生産ではなく国外から輸入されたものであると考えられる。	継続	・税関登録制度の設置等、税関が水際で模倣品を差止める制度の導入や、模倣品の輸入差し止めの強化をして頂きたい。	
2	日機輸	商標権利化手続きの不備	・商標の登録証訂正を行ったが長期間訂正がなされず、問い合わせると商標権が存在しなくなっていた。	継続	・登録証の訂正の迅速な対応と本来あるべき権利が消失しないための政府としての取組みをお願いしたい。	
9. 工業規格・基準・安全認証						
1	印刷機械	COC証明の煩雑さ	・アフリカ向けの輸出には国により適合証明書（COC：Certificate of Conformity）の証明がINTERTEK社、SGS社などを通し、必要となる。機械のテストレポートなど出荷直前に依頼を受け、準備する必要があり、受注時に要不要の判断を代理店に依頼するも信ぴょう性に欠ける。どういふケースで必ず必要になるのか判断基準が分からない。	継続		
10. 環境問題・廃棄物処理・炭素中立関連の諸規制						
1	日機輸	二国間クレジット制度の未締結	・日系企業によるアフリカでの再エネIPP参入において、価格競争力が問題となるケースが多い。二国間クレジット制度（JCM：Joint Crediting Mechanism）が締結されることで、EPC価格の低減を図ることができ、価格競争力を高める期待を持っている。	新規	・ケニア、エチオピア、セネガル、チュニジアと締結国が増えたことに歓迎。 アフリカ各国(二国間協議中のベナン含め)と、JCM締結を進めて頂きたい。	